audio-technica
MIMIO

MIMIO ASSIST ONE

ヒアリングアシストイヤホン

取扱説明書

Japanese

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

イヤホンについて

⚠ 警告	• **本製品を医療機器の近くで使用しない** 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。 • **航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する** 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。 • **自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない** 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。 • **分解や改造はしない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **強い衝撃を与えない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない** 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。 • **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **布などで覆わない** 過熱による火災やけがの原因になります。 • **自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない** 交通事故の原因となります。歩行中でも周辺環境に十分注意して使用してください。特に、踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道などでは注意してください。 • **幼児の手の届く場所に置かない** 誤飲など、事故の原因になる場合があります。

⚠ 注意	• **大音量で耳を刺激しない** 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。 • **肌に異常を感じた場合は、使用しない** すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。 • **使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する** 本製品を耳から外してください。 • **使用後、本製品にイヤピースが付いているか確認する** イヤピースが耳の中へ残り、取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

	• **蒸れによりかゆみなどを感じた場合は、使用を中止する** けがや事故の原因になります。

充電ケースについて

⚠ 警告	• **分解や改造はしない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **強い衝撃を与えない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **濡れた手で触れない** 感電やけがの原因になります。 • **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気付いたら使用しない** 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。 • **水をかけない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない** 感電、故障や火災の原因になります。 • **布などで覆わない** 過熱による火災やけがの原因になります。 • **本製品のバッテリージャックや付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない** 腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 • **付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない** 発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。 • **付属の充電用USBケーブル以外で充電しない** 故障や火災の原因になります。 • **USB電源アダプターやモバイルバッテリーを使用して充電する際、出力電流0.5A（500mA）以上の機器を使用する。ただし、急速充電機能（5Vより大きな電圧を出力する）を有する機器で充電しない** 充電ができない、故障の原因になります。

⚠ 注意	• **直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない** 故障、不具合の原因になります。 • **火気に近づけない** 変形、故障の原因になります。 • **ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない** 変形、故障の原因になります。

充電式電池について

イヤホン・充電ケースは、充電式電池（リチウムイオン電池）を内蔵しています。

安全上の注意

⚠ 危険	• **電池の液が目に入ったときは目をこすらない** すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。 • **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない** 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。 • **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない** 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 • **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない** 発熱、破損、発火の原因になります。 • **落下させたり強い衝撃を与えない** 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 • **水に濡らさない** 発熱、破裂、発火の原因になります。 • **以下の場所で使用、放置、保管しない** 直射日光の当たる場所 高温多湿の場所 炎天下の車内 ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

内蔵充電式電池について

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。

サービスセンター

0120-887-416（携帯電話などのご利用は 03-6746-0212）

本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い

内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

送り先

〒915-0003
福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛
TEL：0778-25-6736（電池回収専用）

Li-ion

使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず接続機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、充電ケースをそのままバッグやポケットなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず充電ケースから充電用USBケーブルを取り外してください。
- 本製品を使用しないときは、付属の充電ケースに収納してください。
- 付属／当社指定（別売）のイヤピース以外を使用した場合、充電ケースにイヤホンが入らなくなったり、正しく充電ができない場合があります。必ず付属／当社指定（別売）のイヤピースを使用してください。
- 本製品を使用する際は、付属のイヤピースから耳にフィットする最適なものを選び、しっかりと装着してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外（アプリなど利用してパケット通信を介している電話）は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機（携帯電話など）があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- イヤホンが濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電ケースに入れてください。充電ケースは防水／防滴仕様ではありません。イヤホンに水分がついた状態で充電を行わないでください。

ヒアリングアシスト（外部音取り込み）機能について

本製品はマイクロホンで取り込んだ外部音を使用者の聴力に合わせて増幅させて再生することで、聴こえ具合をアシストする製品です。

- ヒアリングアシスト機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。外部音取り込み機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかた、音量、使用環境や外部音の種類によって、ピーという音（ハウリング）が発生する場合があります。
- 本製品を使用する際は、外部音をより聴きやすくするため必ず当社専用アプリ「Connect」で聴力フィッティングを行ってください。

アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品に内蔵されたマイクロホンで周囲の環境騒音（乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など）を収音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聴こえます。

- 本製品のノイズキャンセリング機能は、主に低い周波数帯域の騒音に対して効果的ですが、すべての騒音が消えるわけではありません。
- 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- ノイズキャンセリング機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。これはノイズキャンセリング機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出ることがあります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- ノイズキャンセリング効果を最大限に発揮するために、付属のイヤピースから左右それぞれ周囲の音が最も聴こえなくなる遮音性の高いイヤピースを選択し、しっかりと装着してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車で本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。

防水／防じん性能について

- 本製品の防水仕様は、運動時の汗や簡単な水洗いによる内部への液体の侵入を防止する目的で設計されています（IPX5相当）。JIS 保護等級IPX5とは、噴流に対して保護されていることを意味します。お風呂などの高温多湿の場所では使用できません。
- 完全防水ではありません。故意に水中に沈めたり、水中で使用しないでください。また汗や水以外の液体（石けん水など）にさらさないでください。
- 本製品の防じん仕様は、埃やちりの内部への侵入を防止する目的で設計されています（IP5X相当）。JIS保護等級IP5Xとは、動作を阻害する粉じんの侵入に対して保護されていることを意味します。
- 本製品の防水／防じん性能はイヤホン本体のみの仕様です。充電ケースは防水／防じん仕様ではありません。
- イヤホン本体はIP55相当の防水／防じん処理を行っていますが、音が出る部分は防水／防じん仕様ではありません。
- イヤホンが濡れている場合は、充分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回振って水分を取り除いたあと、充分に乾かしてからご使用ください。

Bluetooth製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1.この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2.万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3.その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
- 本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

使用上の注意

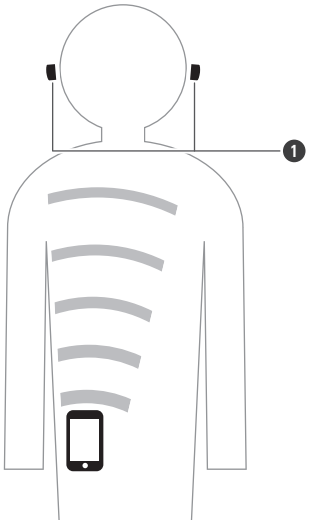
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。

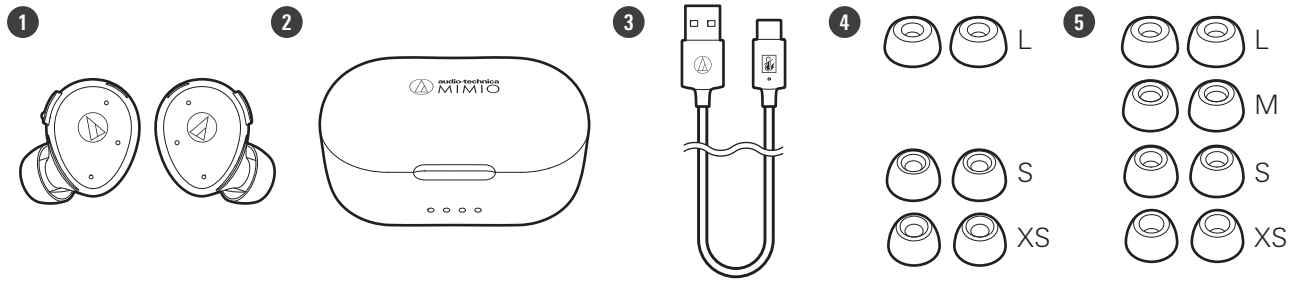
Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth端末をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部とBluetooth端末の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。



1 アンテナ部

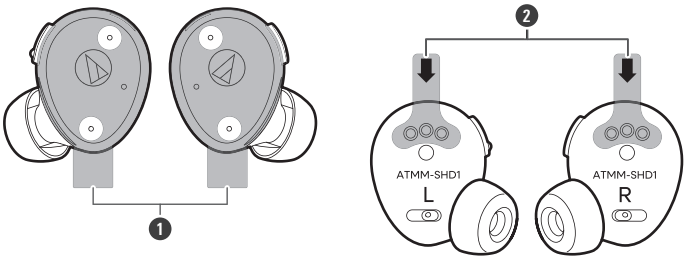
同梱品の確認



1. **イヤホン**
2. **充電ケース**
3. **充電用USBケーブル（50cm、USB Type-A／USB Type-C™）**
   充電用USBケーブルには過熱防止機能が搭載されています。
4. **交換用イヤピース（通常タイプ）**
   お買い上げ時の本体にはMサイズのイヤピースが装着されています。
5. **交換用イヤピース（導管が長いタイプ）**

保護シート／絶縁シートを剥がす

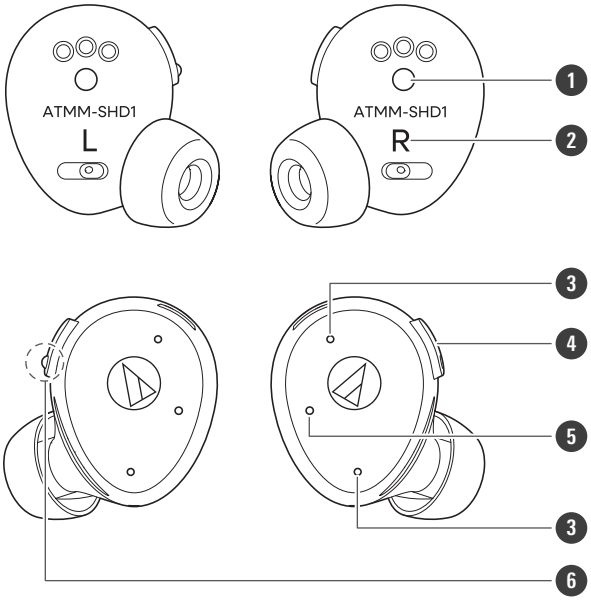
ご使用の前にイヤホンの保護シートと絶縁シールを剥がしてください。



1. 保護シート
2. 絶縁シール

各部の名称と機能

イヤホン



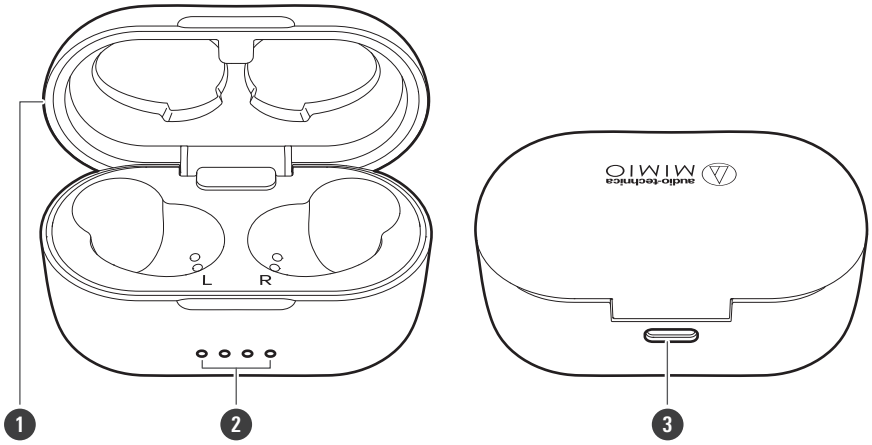
1. **センサー（装着検出機能用）**
2. **L／R（左／右）表示位置**
3. **マイクロホン部**
4. **操作ボタン**

   ヒアリングアシストからノイズキャンセリングへの切り替え、音楽の再生／一時停止、電話の応答に使用します。また、音量を調整します。
5. **インジケーター**

   イヤホンの動作状況を表示します。
6. **凸形状**

   操作ボタンのL（左）側には指で触ってわかるように凸形状があります。

充電ケース



1 カバー

2 インジケーター

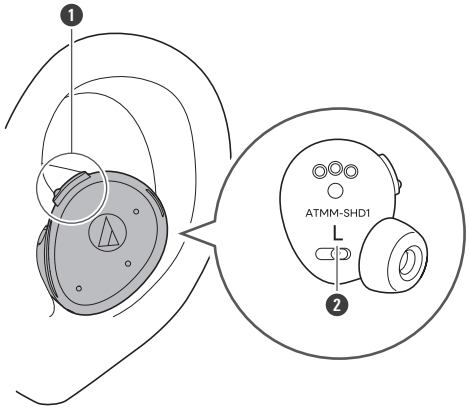
充電ケースを充電しているときに点灯／点滅します。また、充電ケースの電池残量を表示します。

3 バッテリージャック

付属の充電用USBケーブルを接続して充電します。

装着のしかた

“L”の表示があるイヤホンを左耳に、“R”の表示があるイヤホンを右耳に装着します。イヤホンの操作ボタンが上側にくるように装着し、耳にフィットするかどうかを確認します。



1 操作ボタン

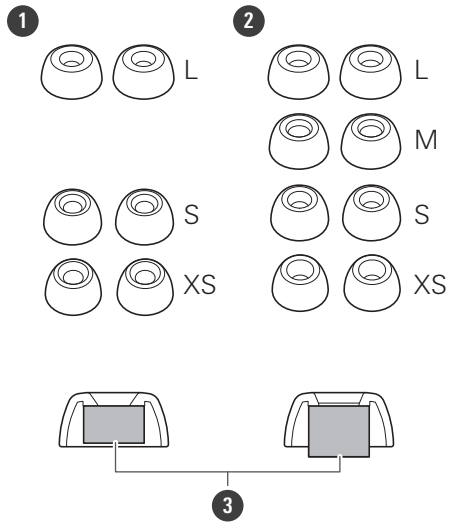
2 L／R（左／右）表示位置

イヤピースについて

イヤピースが耳にフィットしない場合は、付属の交換用イヤピースからお好みのサイズに付け替えることができます。

イヤピースのサイズ

本製品は通常タイプのイヤピースと導管が長いタイプのイヤピースが、4サイズ（XS／S／M／L）付属しています。お買い上げ時は通常タイプのイヤピース（Mサイズ）がイヤホンに装着されています。



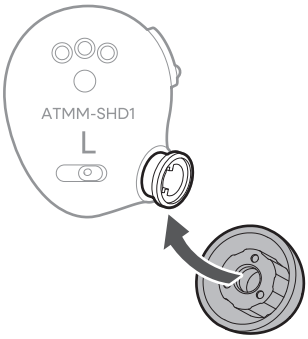
1 **通常タイプのイヤピース**

2 **導管が長いタイプのイヤピース**

3 **導管**

交換のしかた

イヤピースを取り外し、交換用イヤピースを斜めから押し当てます。イヤピースの内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。



- イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。イヤピースが外れやすくなるなどの劣化が見られた場合はイヤピースを交換してください。

イヤピースについて

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- 一度取り外したイヤピースを本体に取り付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

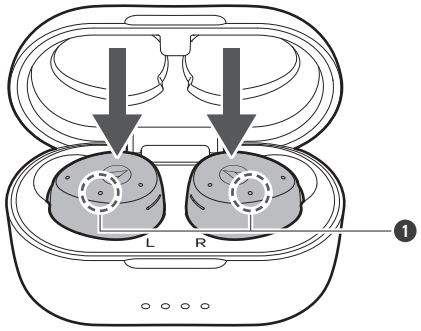
充電のしかた

- 初めてご使用になる場合は、イヤホンを充電ケースに収納して充電を行ってください。
- 充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品から残量低下を知らせる音声ガイダンス「バッテリーが少なくなっています」が流れます。早めに充電してください。
- 満充電までに必要な充電時間は約1.6時間です。（使用条件により異なります）
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電してください。正常な充電温度範囲外で充電を行うと、充電ができなかったり、充電時間が長くなったりする恐れがあります。また、電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。

充電ケース／イヤホンを充電する

1 イヤホンを充電ケースに取り付けます。

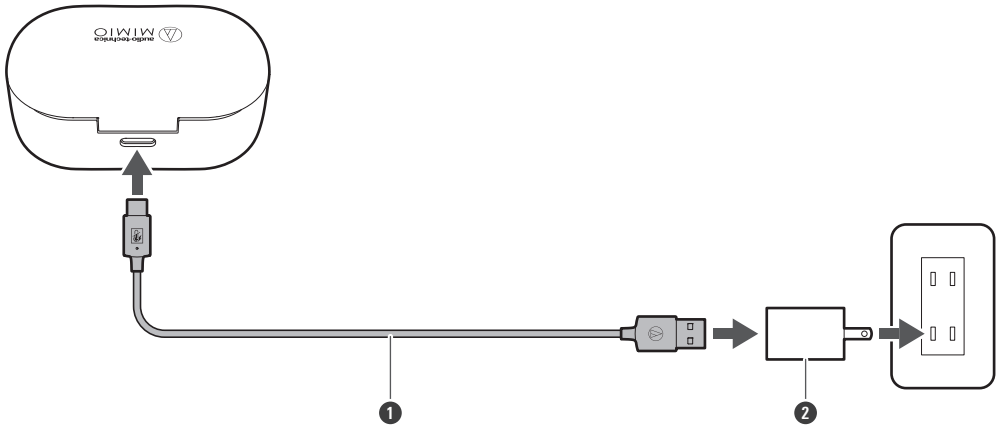
- イヤホンを充電する際は、イヤホンのインジケーターが点灯しているかご確認ください。点灯しない場合、イヤホンを取り付け直してください。



1 インジケーター

2 付属の充電用USBケーブルを市販のUSB電源アダプター（USB Type-A対応）に接続します。

- 付属の充電用USBケーブルは本製品専用です。ほかの充電用USBケーブルは使用しないでください。
- USBポートやバッテリージャックに充電用USBケーブルを差し込む際は、まっすぐ（水平に）差し込んでください。

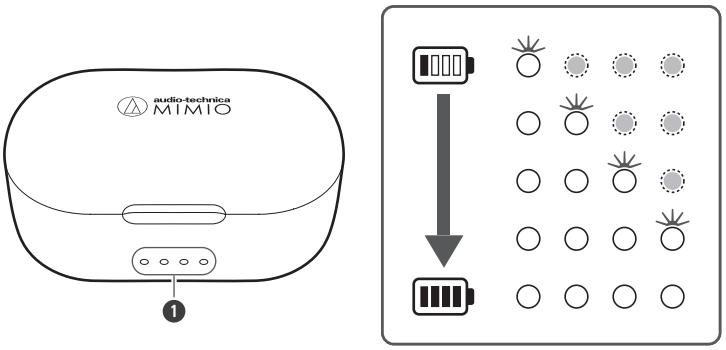


1 付属の充電用USBケーブル

❷ 市販のUSB電源アダプター（付属していません）

3 充電を開始します。

- 充電時は、充電ケースのインジケーターが次のように点灯／点滅します（インジケーターの表示に数秒かかる場合があります）。



❶ インジケーター

インジケーター	動作状態
点灯・点滅（4つの充電インジケーターが電池残量に合わせて、点灯・点滅します）	充電中
10秒間点灯後、消灯	充電完了
4つ同時に点滅	充電エラー[1]

[1] 充電ケースやイヤホンが熱を持っている可能性があります。温度が充分に下がったことを確認してから、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電をし直してください。

4 充電完了後、付属の充電用USBケーブルと市販のUSB電源アダプターを取り外します。

- 充電時は必ず付属の充電用USBケーブルをご使用ください。付属の充電用USBケーブル以外では充電できない場合があります。
- 充電時は必ずイヤホンが濡れていないことを確認してください。イヤホンが濡れている場合は電源が入らなかったり、充分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回振って水分を取り除いたあと、充分に乾かしてから充電してください。

充電用USBケーブルについて

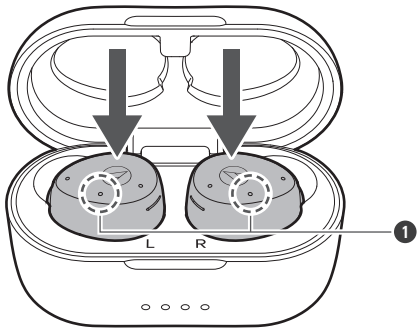
付属の充電用USBケーブルには過熱防止機能が搭載されています。充電ケースのバッテリージャックや、充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電することが原因で起こる異常な発熱を検知すると、充電が停止します。発熱・発煙・発火などによる故障や感電を防ぐために、本製品を充電する際は、必ず付属の充電用USBケーブルを使用してください。

充電用USBケーブルを使用しないでイヤホンを充電する

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、充電用USBケーブルを使用せず、イヤホンを充電することができます。

1 **イヤホンを充電ケースに取り付けます。**

- 充電時は、イヤホンのインジケーターが次のように点灯します（インジケーターの表示に数秒かかる場合があります）。
- イヤホンを充電する際は、イヤホンのインジケーターが点灯しているかご確認ください。点灯しない場合、イヤホンを取り付け直してください。



❶ インジケーター

インジケーター	動作状態
白色点灯	充電中
消灯	充電完了／充電ケース電池残量無し

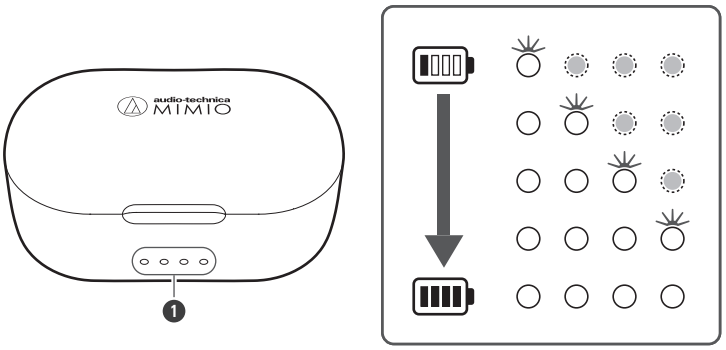
充電ケースの電池残量を確認する

充電ケースのカバーを開ける／閉じると、インジケーターが点滅し、充電ケースの電池残量を表します。

1 **充電ケースのカバーを開け／閉じます。**

- 充電ケースの電池残量を点灯で表します。インジケーターの点灯する数で電池残量を表します。

充電のしかた

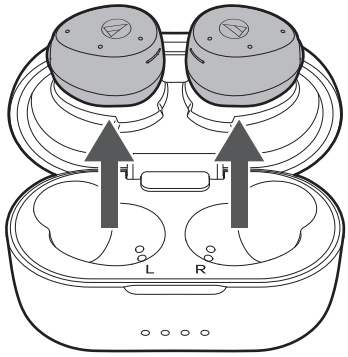


❶ インジケーター

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 充電ケースからイヤホンを取り出します。

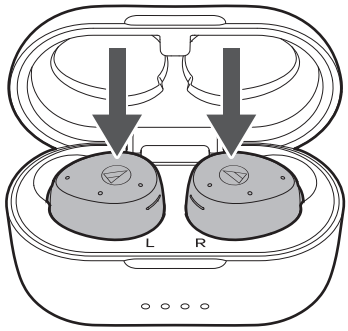


» 電源が自動的に入り、イヤホンのインジケーターが点灯したあと、消灯します。

- インジケーターの表示に数秒かかる場合があります。

電源を切る

1 イヤホンを充電ケースに取り付けます。



» 電源が自動的に切れます。

Bluetooth接続のしかた

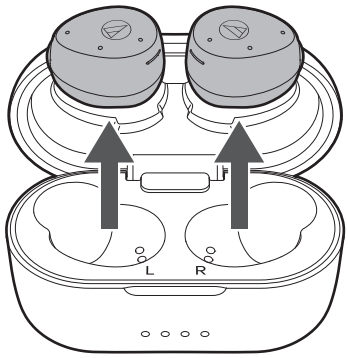
本製品とBluetooth端末を接続する場合は、本製品とペアリング（登録）する必要があります。

ペアリングのしかた（はじめてペアリングする場合）

- Bluetooth端末の取扱説明書も併せてお読みください。
- Bluetooth端末を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- 音声ガイダンスを聴きながらペアリングを行う場合は、本製品を装着してください。

iPhone（アイフォーン）をご使用の場合

1 イヤホン（L（左）側・R（右）側）を充電ケースから取り出します。



» イヤホンの電源が自動的に入ります。

2 「設定」＞「Bluetooth」をタッチします。

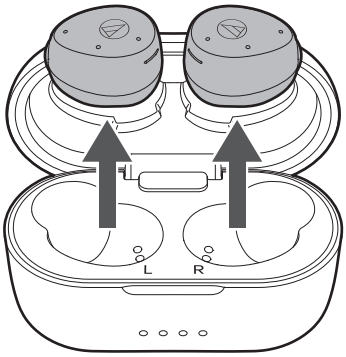
3 「Bluetooth」を有効にします。

4 「MIMIO ASSIST ONE」をタッチします。

» ペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。

Android（アンドロイド）スマートフォンをご使用の場合

1 イヤホン（L（左）側・R（右）側）を充電ケースから取り出します。



» イヤホンの電源が自動的に入ります。

2 「設定」＞「接続設定」をタッチします。

3 「新しいデバイスとペア設定」をタッチします。

4 「MIMIO ASSIST ONE」をタッチします。

- お使いのスマートフォンによっては「LE_ASSIST ONE」と表示される場合があります。

5 「ペア設定する」をタッチします。

» ペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。

ペアリングのしかた（2回目以降）

新たなBluetooth端末を接続する際はペアリングが必要ですが、一度ペアリングしたBluetooth端末とは、再度ペアリングする必要はありません。本製品は履歴を保存できるマルチペアリングに対応しています。ただし、次の場合は、一度ペアリングしたBluetooth端末であっても再度ペアリングが必要です。

- Bluetooth端末の接続履歴から削除された場合
- 本製品を修理に出した場合
- 本製品をリセットした場合

アプリでの初期設定

当社専用アプリの「Connect」をお使いのスマートフォンにインストールし、イヤホンの設定を行います。アプリで聴力レベルの測定・調整を行ってから使用してください。測定・調整を行わないと、自分に合った設定でイヤホンを使うことができません。

インストールと初期設定

1 **「Connect」をインストールします。**

- 当社ホームページ「https://app.at-globalsupport.com/jp/」にアクセスして、「Connect」をスマートフォンにインストールしてください。

CONNECT App
iOS, Android

2 **インストール完了後に「Connect」のアプリアイコンをタッチして起動します。**

- 画面の指示に従って操作します。

» 完了画面が表示されたら初期設定は完了です。

3 **お勧めの設定に進んで、カラー選択まで行います。**

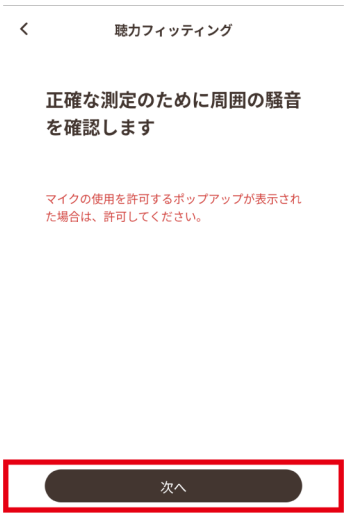
聴力レベルを測定・調整する

聴力レベルを測定する際は、L（左）／R（右）両方のイヤホンを装着してから行ってください。

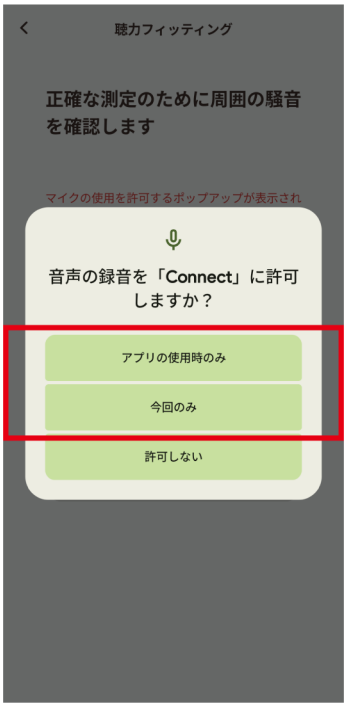
1 「次へ」をタッチします。

2 「誕生年」「性別」を選択し、「次へ」をタッチします。

3 「次へ」をタッチします。



4 音声の録音を許可する画面が表示される場合は許可します。



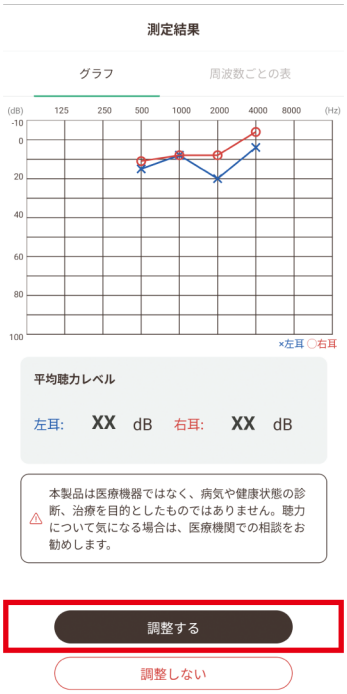
5 音量ゲージを確認して静かな環境であれば、「次へ」をタッチします。

6 **準備ができたら「測定開始」をタッチします。**

- 聴力レベルを測定する際は、L（左）／R（右）両方のイヤホンを装着してから行ってください。両方のイヤホンを装着していないと、エラーになります。

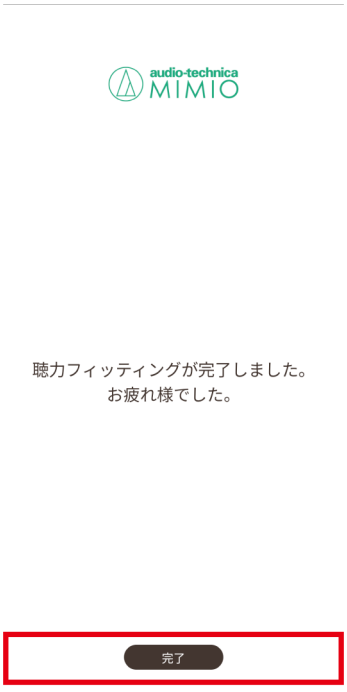
7 左耳と右耳を片方ずつ順番に測定します。音が聴こえている間は、枠内をタッチし続けてください。

8 測定が完了すると、測定結果が表示されます。「調整する」をタッチします。



9 「結果を保存する」をタッチします。

10 「完了」をタッチします。

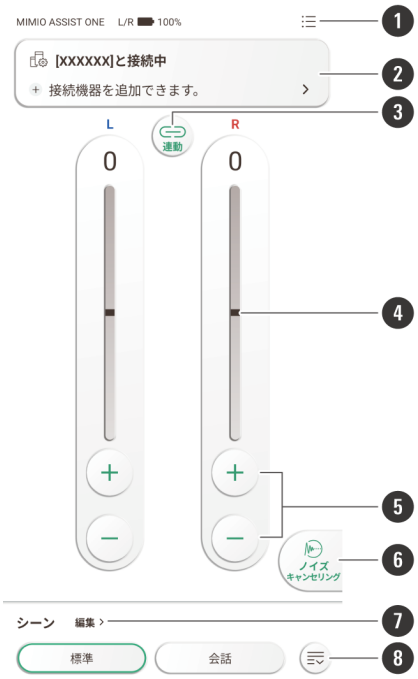


» イヤホンの聴力レベルの測定・調整が完了しました。ホーム画面が表示されます。

アプリの使いかた（基本編）

本アプリは屋内や野外など環境によって外部音の取り込み量を調整することができます。また、調整したデータはプリセット保存できますので、シーンにあった最適な使いかたができます。

画面の見かた



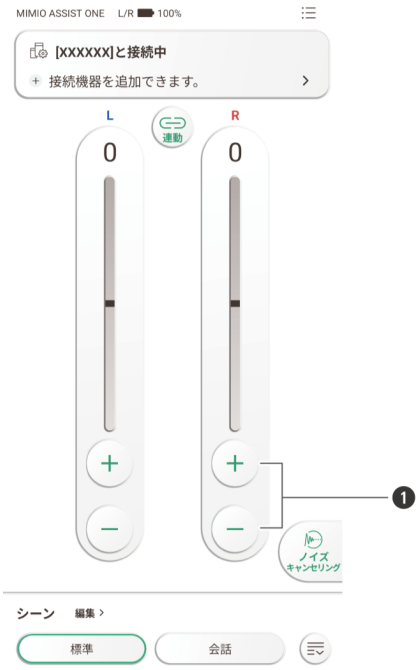
1. 設定メニュー
2. 接続機器の管理
3. L（左）／R（右）連動切り替え
4. 音量メーター表示
5. 音量調整
6. ノイズキャンセリング有効／無効
7. シーン編集
8. シーン切り替え

音量を調整する

外部音の取り込み量を、L（左）／R（右）側のイヤホンそれぞれの聴こえ具合に合わせて調整できます。画面の「＋／－」をタッチして、お好みの音量に調整してください。

- お買い上げ時、外部音の取り込み量は「-2」になっています。これは、本製品を使い始めると、色々な音が急に聴こえるようになるため、音がうるさいと感じることがあるためです。使用していくうちに、少しずつ音に慣れていきます。音の慣れに合わせて、音量を調整してください。

1 L（左）／R（右）の「＋」または「ー」をタッチして音量を調整します。

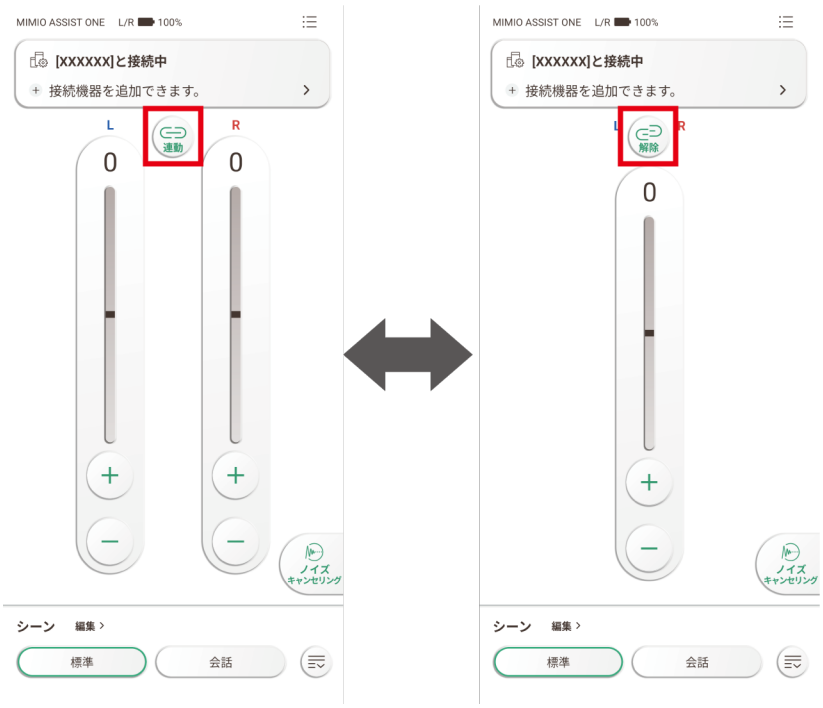


❶ 音量調整

- ここで調整した音量はイヤホンの電源を切ると、元の音量に戻ります。音量を固定したい場合は、使用するシーンの詳細設定にある「外部音取り込み音量」から開始時の音量を設定してください。

L（左）／R（右）の調整を連動させたい場合

1 「連動」／「解除」をタッチします。



ノイズキャンセリング機能を使用する

ノイズキャンセリング機能とは、本製品に内蔵されたマイクロホンが周囲の騒音を検知し、キャンセリング信号を出して騒音を効果的に低減する機能です。例えば周囲の音を気にせず作業に集中したいときなどにお勧めです。本機能を有効にすると、外部音は取り込まなくなります。

1 「ノイズキャンセリング」をタッチします。

» ノイズキャンセリング機能の有効／無効が切り替わります。

- ノイズキャンセリング機能が有効のときは、外部音の取り込み量調整やシーンの切り替えはできません。
- イヤホンを耳から取り外しているときは、ノイズキャンセリング機能は自動的に無効になります。

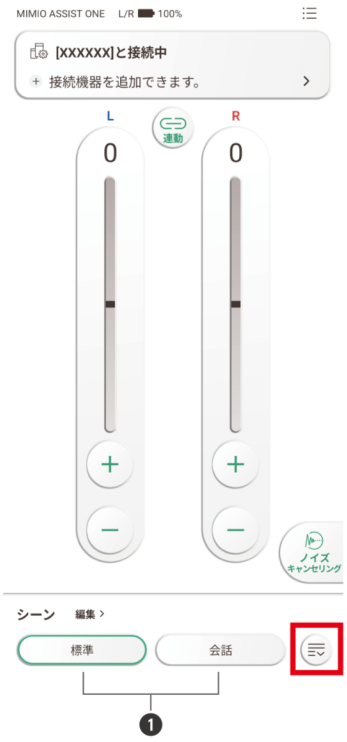
- L（左）／R（右）両方のイヤホンを装着していないと、ノイズキャンセリング機能は操作できません。

シーンを切り替える

使用シーン（場所）に合わせて外部音の取り込みモードを切り替えることができます。お買い上げ時には次のプリセット（初期設定）が選択できます。使用場所や用途に合わせて選んでください。

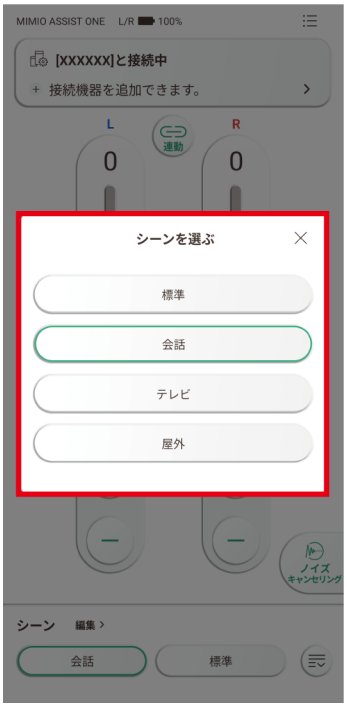
シーン	説明
標準	使用シーンを選ばない標準的な設定です。お買い上げ時に設定されています。
会話	対面での会話にお勧めの設定です。
テレビ	テレビを視聴するときにお勧めの設定です。
屋外	屋外で環境音がある中での会話にお勧めの設定です。

1 表示されているシーン以外を選びたい場合は、シーン切り替えのアイコンをタッチします。



1 2つのショートカットをタッチして、切り替えることもできます。

2 使用シーン（場所）に合わせて、シーンをタッチして切り替えます。



» 切り替えたシーンが表示されます。

- シーンを編集したり、使用シーンの詳細を設定して新しいシーンを保存することもできます。シーンの詳細編集については「シーンを編集する」(p.45)をご確認ください。

接続端末を管理・追加する

ほかの端末を新たに接続したり、これまでに接続したことがある端末の一覧から、接続したい端末を選択して、接続を切り替えることができます。複数台の端末で本製品を使用するときに、切り替えを簡単に行うことができます。

1 **接続中の表示をタッチします。**

2 **現在接続されている端末が確認できます。変更したい場合は下記の操作を行います。**

- 接続解除したい場合は「接続解除」をタッチします。
- 以前接続したことがある端末を接続したい場合は「接続する」をタッチします。
- 新しい端末を接続する場合は「＋追加」をタッチします。

マルチポイントについて

本製品は、2台のBluetooth端末を同時に接続できるマルチポイントに対応しています。1台目で本製品を使用している最中に、2台目にかかってきた電話の着信をそのまま受けて通話することができます。スマートフォンなどの2台持ちに便利です。

- すべてのBluetooth端末での組み合わせ、動作を保証するものではありません。
- お買い上げ時、マルチポイント接続はオフになっています。

1 **画面右上のアイコンをクリックし、「マルチポイントをオンにする」とタッチしてオンにします。**

2 **「追加」をタッチします。**

3 **2台目のBluetooth端末とペアリングを行います。**

- マルチポイントで同時接続できるBluetooth端末は2台までです。3台目のBluetooth端末を接続する場合は、接続している2台のうち、どちらか1台との接続を解除してください。
- 2台同時に音楽再生はできません。
- 1台目で音楽再生中に、2台目で音楽再生を行うと、音楽再生は2台目に切り替わります。

詳細設定をする

ホーム画面の設定メニューから各種設定を行うことができます。

1 設定メニューをタッチします。

2 メニュー一覧が表示され、各メニューの詳細な設定ができます。

メニュー項目	説明
聴力フィッティング	聴力レベルを測定します。詳しくは「聴力フィッティング」(p.42)をご確認ください。
ヘルプ	取扱説明書、FAQ、サービスパーツ情報が確認できます。
イコライザー	音楽再生時の、イコライザーの設定ができます。
キーアサイン	イヤホンの操作ボタンに割り当てる機能を設定できます。詳しくは「キーアサイン」(p.43)をご確認ください。
接続機器の管理	ほかの端末を新たに接続したり、これまでに接続したことがある端末の一覧から、接続したい端末を選択して、接続を切り替えることができます。詳しくは「接続端末を管理・追加する」(p.39)をご確認ください。
製品情報	イヤホンの詳細情報が確認できます。また、イヤホンのリセットも行うことができます。
アプリケーション情報	「Connect」アプリのバージョンが表示されています。
イヤホンのカスタマイズ画面に切り替え	イヤホンの詳細設定をこちらから行います。

聴力フィッティング

聴力レベルを再度測定したい場合や一度測定したデータを確認・リセットしたいときなどに設定を行います。

1 **「聴力フィッティング」をタッチすると4つの選択項目が表示します。**

- 聴力フィッティングを一度も完了していない場合は、聴力フィッティング設定画面が表示されます。

項目	説明
再測定する	選択すると初期設定のときと同じ操作画面になります。「聴力レベルを測定・調整する」(p.28)をご確認ください。
最後に保存したデータを確認する	選択すると測定結果を表示します。「平均聴力レベル」をグラフで確認したいときは「グラフ」を選んで表示します。表で確認したいときは「周波数ごとの表」を選んで表示します。
手動でデータを入力する	医療機関などで測定したデータをお持ちの場合、手動でデータを入力できます。左耳と右耳それぞれを入力してください。片耳のみを入力した場合、データは保存できません。
イヤホンの調整を初期化する	保存した測定データや手動で入力したデータを初期化します。初期化後は再度測定、およびデータ入力をしてください。

キーアサイン

左右イヤホンの操作ボタンに割り当てられている機能を変更することができます。

パターン選択

初期設定で割り当てられている機能は３つのパターンです。

機能	特長
パターン1	基本的な機能を操作できるバランスの良い設定です。
パターン2	ヒアリングアシスト機能の操作が中心のシンプルな設定です。
パターン3	充電ケースに戻さず、ボタン操作で電源を入れる／切ることができる設定です。

カスタム設定

パターン1～3をベースにして操作ボタンの機能を変更することができます。

イヤホンのカスタマイズ画面

イヤホンのカスタマイズ画面に切り替えると、イヤホンの詳細設定ができます。

オーディオ

機能	説明
ノイズキャンセリング	ノイズキャンセリング機能の有効／無効を切り替えます。
イコライザー	音楽再生時の、イコライザーの設定ができます。
サウンドスケープ	仮眠や落ち着きを促すリラックス効果の高い自然のサウンドをはじめ、集中力を高めるマスキングノイズ、リフレッシュや瞑想に適したヒーリングサウンドなどをダウンロードして再生できます。
左右バランス調整	音楽再生時の、左右の音量バランス調整ができます。

システム

機能	説明
キーアサイン	イヤホンの操作ボタンに割り当てる機能を設定できます。詳しくは「キーアサイン」(p.43)をご確認ください。
装着検出	装着検出機能の有効／無効を設定できます。装着検出機能を有効にしていると、耳への取り出し・装着を内蔵のセンサーが検出し、ハウリング対策のため自動的に外部音の取り込みを停止します。
接続機器の管理	ほかの端末を新たに接続したり、これまでに接続したことがある端末の一覧から、接続したい端末を選択して、接続を切り替えることができます。詳しくは「接続端末を管理・追加する」(p.39)をご確認ください。
置き忘れアラート	Bluetooth接続中のイヤホンが、Bluetooth端末から離れたことを通知することができます。左右のイヤホンが離れたことも通知できます。
ヘルプ	取扱説明書、FAQ、サービスパーツ情報が確認できます。
製品情報	イヤホンの詳細情報が確認できます。また、イヤホンのリセットも行うことができます。

シーンを編集する

より快適にお使いいただけるためにシーンを編集することができます。

シーンを新規作成する

- 「シーン1（未編集）」～「シーン4（未編集）」の最大4つのシーンを新規作成できます。ここでは「シーン1」で新規作成する場合の手順で説明します。

1 **ホーム画面の「編集」をタッチします。**

2 **「使用するシーン選択」をタッチします。**

3 「シーン1（未編集）」を有効に切り替え、完了をタッチします。

- 「使用するシーン選択」で有効にしたシーンはホーム画面での「シーンを選ぶ」画面で表示されるようになります。また、イヤホンでシーンを切り替える際、ここで有効にしたシーンが切り替わります。

» 「シーン1（未編集）」が「使用しないシーン」から「使用するシーン」に切り替わります。

4 「シーン1（未編集）」をタッチします。

5 シーンの詳細設定を行います。

- 各種設定は「シーンの詳細設定」(p.48)をご確認ください。

» 設定した値は自動的に保存されます。

シーンの詳細設定

1 シーンの編集画面から各機能が調整できます。

機能	説明
外部音取り込み音量	このシーンの使用を開始するときの音量を設定します。L（左）、R（右）それぞれ独立して音量を設定でき、連動させる設定もできます。
自分の声の抑制	自分の声の抑制量を調整します。自分の声が大きく響いて聴こえる場合に有効です。
イコライザー	音の高さごとに音量を調整します。音声のバランスを整えたり特定の音を抑制したりすることができます。L（左）、R（右）それぞれ独立して音量を調整できますが、連動させて調整もできます。
環境ノイズ	車や人混み、空調の音など周囲のノイズを低減します。レベルを上げると低い音などが聴き取りづらくなることがあります。
衝撃ノイズ	突発的に発生する大きなノイズを低減します。
明瞭度	人の話し声を聴き取りやすくします。レベルを上げると低い音などが聴き取りづらくなることがあります。
指向性	自分が向いている方向の音を中心に取り込みます。対面の会話などの際に便利です。

シーンを初期値に戻す

もう一度設定し直したい場合、設定項目を初期値に戻すことができます。

1 初期値に戻したいシーンをタッチします。

2 「初期値に戻す」をタッチします。

3 「はい」をタッチするとシーン名称と各種設定項目が作成前の初期値に戻ります。

設定ごとに初期値に戻したい場合

すべての設定項目を初期値に戻すのではなく、一部の設定項目を初期値に戻すことができます。設定項目に入り「初期値に戻す」をタッチしてください。

シーンを複製する

作成したシーンの設定内容を他のシーンに複製することができます。

1 作成したシーンをタッチします。

シーン詳細編集
使用するシーン
標準（未編集）
会話（複製のみ可能）
テレビ（複製のみ可能）
屋外（複製のみ可能）
シーン1（未編集）
使用しないシーン
シーン2（未編集）
シーン3（未編集）
シーン4（未編集）
使用するシーン選択
並び替え

2 「複製」をタッチします。

「シーン1」の詳細設定
初期値に戻す
複製
聞き取りやすさ
外部音取り込み音量
L：0 / R：0
自分の声の抑制
レベル：1
イコライザー
LR
ノイズ低減
環境ノイズ
レベル：2
衝撃ノイズ
レベル：2
話し声
明瞭度
レベル：1
指向性
オフ

3 **複製先のシーンを選択し、「複製」をタッチします。**

- 未編集のシーンの場合は「複製」、編集済みのシーンの場合は「上書き」をタッチします。

シーンを有効・無効に設定する

「使用するシーン選択」で有効にしたシーンはホーム画面での「シーンを選ぶ」画面で表示されるようになります。また、イヤホンでシーンを切り替える際、ここで有効にしたシーンが切り替わります。

1 **「シーン詳細編集」画面の「使用するシーン選択」をタッチします。**

2 使用したいシーンを有効に切り替えます。使用しないシーンは無効に切り替えて、「完了」をタッチします。

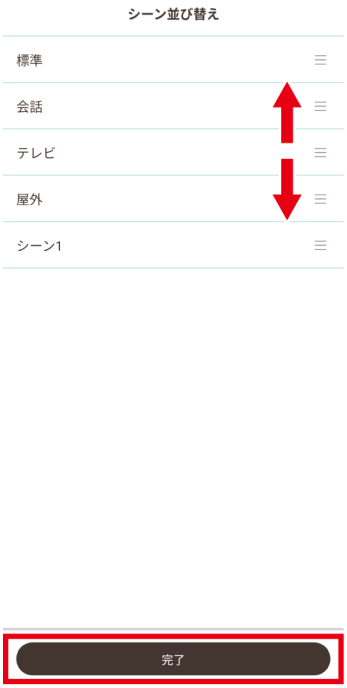
- 鍵マークのついているシーンは無効にできません。

シーンの順番を入れ替える

- 並べ替えたシーンはホーム画面での「シーンを選ぶ」画面で表示されます。一番上にしたシーンは、イヤホンを充電ケースから取り出したとき、最初に選択された状態で使用を開始します。
- イヤホンのボタン操作でシーンを切り替える際は、ここで設定した順番で切り替わります。

1 「シーン詳細編集」画面の「並び替え」をタッチします。

2 並び替えたいシーンを選び、タッチしたまま上下に移動させて順番を入れ替え、「完了」をタッチします。

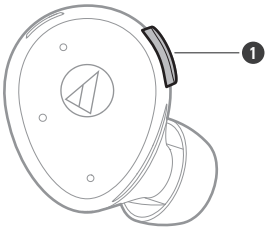

シーン並び替え
標準
会話
テレビ
屋外
シーン1
完了

イヤホンの操作（ヒアリングアシスト）

イヤホンのボタン操作で次のことができます。

電源が入っているとき

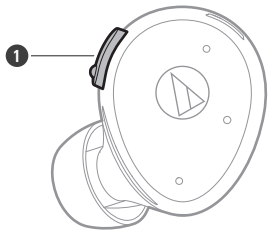
イヤホン（R（右）側）のボタン操作



❶ 操作ボタン

操作	動作
長押しする（約2秒）	ノイズキャンセリング機能の有効／無効が切り替わります。

イヤホン（L（左）側）のボタン操作



❶ 操作ボタン

操作	動作
1回押す	外部音の取り込み量が1段階大きくなります。[1]
2回連続で素早く押す	外部音の取り込み量が1段階小さくなります。[1]
3回連続で素早く押す	1番目に設定しているシーンに切り替わります。
長押しする（約2秒）／長押しし続ける	シーンが順に切り替わります。長押しし続けると、連続でシーンが順に切り替わります。

[1] ここで調整した音量はイヤホンの電源を切ると、元の音量に戻ります。音量を固定したい場合は、使用するシーンの詳細設定にある「外部音取り込み音量」から開始時の音量を設定してください。

イヤホンの操作（通話する）

お使いのスマートフォンなどのBluetooth端末で、本製品を使用して通話ができます。

通話する

1 **イヤホンを充電ケースから取り出し、耳に装着します。**

2 **スマートフォンなどのBluetooth端末で電話を発信／着信します。**

- スマートフォンなどのBluetooth端末が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。

3 **着信の場合は、イヤホン（L（左）側／R（右）側）の操作ボタンを1回押して、応答します。**

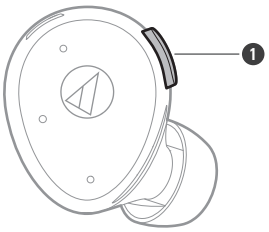
- L（左）側またはR（右）側どちらのイヤホン操作でも応答できます。

4 **音量（大／小）を調整するときは、イヤホン（L（左）側）の操作ボタンを1回押しまたは2回連続で素早く押します。**

5 **通話を終了するときは、イヤホン（L（左）側／R（右）側）の操作ボタンを長押し（約2秒）します。**

- 片方のイヤホンだけ電源を入れて装着し、片耳で通話することができます。片方のみで使用すると、装着する側によっては操作できない機能があります。その場合は、Bluetooth端末側で操作を行ってください。

イヤホン（R（右）側）のボタン操作



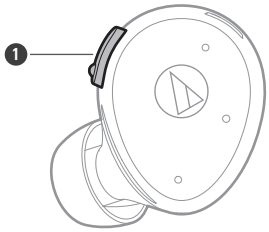
1 操作ボタン

操作	動作
1回押す	着信時：電話を受けます。 通話時：通話の音声すべて（相手の音声・自分の音声）をミュートにして、外部音を取り込みます。もう一度押すとミュート解除します。
2回連続で素早く押す	通話時：マイクロホンをミュート／ミュート解除します。[1]
長押しする（約2秒）	着信時：着信を拒否します。 発信時：発信を中止します。 通話時：通話を終了します。

[1] ボタン操作でのミュート操作はイヤホン側でのミュートを行うのみで、スマートフォン側のミュート機能とは連動しません。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

イヤホン（L（左）側）のボタン操作



1 操作ボタン

操作	動作
1回押す	着信時：電話を受けます。 通話時：通話音量が1段階大きくなります。
2回連続で素早く押す	通話時：通話音量が1段階小さくなります。
長押しする（約2秒）	着信時：着信を拒否します。 発信時：発信を中止します。 通話時：通話を終了します。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

イヤホンの操作（音楽を聴く）

本製品では、音楽を聴くイヤホンとして使うこともできます。お使いのスマートフォンなどのBluetooth端末の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。

音楽を聴く

1 **イヤホンを充電ケースから取り出し、耳に装着します。**

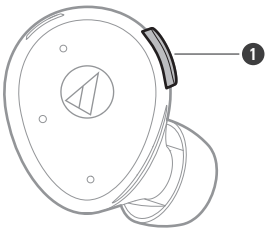
2 **スマートフォンなどのBluetooth端末で音楽を再生します。**

3 **音楽を一時停止するときは、イヤホン（R（右）側）の操作ボタンを1回押します。**

- 押すたびに再生／一時停止します。

- 片方のイヤホンだけ電源を入れて装着し、片耳で音楽を聴くことができます。片方のみで使用すると、装着する側によっては操作できない機能があります。その場合は、Bluetooth端末側で操作を行ってください。
- 音楽の音量を調整することはイヤホンのボタン操作ではできません。Bluetooth端末側で操作を行ってください。当社専用アプリの「Connect」で操作ボタンのキーアサインを変更することで、イヤホンのボタン操作で音量調整ができるようになります。

イヤホン（R（右）側）のボタン操作



1 操作ボタン

操作	動作
1回押す	音楽が再生、一時停止します。
2回連続で素早く押す	次の曲に送ります。
3回連続で素早く押す	前の曲／曲の先頭に戻します。

- 一部のスマートフォンでは操作ができない場合があります。

イヤホン（L（左）側）のボタン操作

音楽再生に関するボタン操作はありません。

音声ガイダンスについて

本製品は次の状況で音声ガイダンスが流れます。

状況	音声ガイダンス
ヒアリングアシスト機能使用時 （機能切り替え時）	ヒアリングモード
ノイズキャンセリング機能使用時 （機能切り替え時）	ノイズキャンセリング
シーンの選択	（シーンの名称が音声で流れます。）
音量最大	これ以上上がりません
音量最小	これ以上下がりません
マイクミュートオン（通話中）	マイクオフ
マイクミュートオフ（通話中）	マイクオン
電池残量が少ない	バッテリーが少なくなっています
電池切れ	充電してください

お手入れのしかた

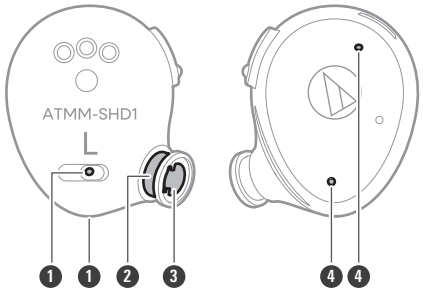
長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

イヤホン

- イヤホンをお手入れする際は、イヤピースを取り外してください。
- イヤホンが濡れている場合は、充分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回振って水分を取り除いたあと、充分に乾かしてからご使用ください。
- 特にイヤピース装着部（図参照）は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。なお、音が出る部分は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。

1 イヤピースを取り外し、水で洗います。

- 石けん水などを使用せずに常温（10～35℃）の真水や水流の弱い水道水で洗ってください。
- 「音が出る部分」、「マイクロホン部」や「通気孔」に直接水がかからないように注意しながら洗ってください。
- ブラシやスポンジなどを使用せずに手で洗ってください。

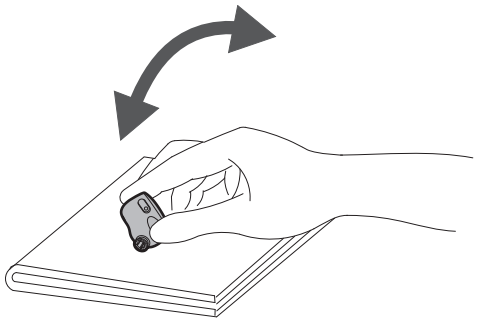


1. 通気孔
2. イヤピース装着部
3. 音が出る部分
4. マイクロホン部

2 洗い終わったあと、表面の水分を乾いた清潔で柔らかい布などでよく拭きます。

3 イヤホンをしっかりと持ち、乾いた布に当てて水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

- イヤホンはIPX5相当の防水処理を行っていますが、「音が出る部分」や「マイクロホン部」は非耐水エリアのため、イヤホン内部に水が浸入すると音が出ない場合や音が聴こえにくくなる場合があります。その場合は、「音が出る部分」や「マイクロホン部」を下側にして、乾いた布に当てて20回程度振ってください。



4 **「音が出る部分」や「マイクロホン部」などの隙間にたまった水は乾いた清潔で柔らかい布などにイヤホンを軽く押し当てて拭き取ってください。**

- 隙間にたまった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

充電ケース／充電用USB ケーブル／イヤピース

- 充電ケースは乾いた布で汚れを拭いてください。
- 充電ケースのバッテリージャック、充電端子などに汗などの水分が付着した場合は、すぐに拭いてください。腐食による故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルのUSB端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
- イヤピースの洗浄は、イヤホンからイヤピースを取り外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は乾いてからご使用ください。

- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

強制ペアリングモード／リセット

本製品の接続がうまくいかない場合（強制ペアリングモード）

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

1 L／R（左／右）両方のイヤホンを充電ケース（電池残量がある状態）に取り付けたあとイヤホンのインジケーターが点灯後に、両方のイヤホンの操作ボタンを3回連続で押します。

2 両方のイヤホンのインジケーターが1度白色点滅したら、充電ケースから取り出します。

» 本製品が「機器検索中」状態（ペアリングモード）に切り替わり、接続したいBluetooth端末とのペアリングを行うことができるようになります。

- 手順通りにできなかった場合は、もう一度最初から同じ操作を行ってください。

本製品の動作がおかしい場合

ハードウェアリセット

ハードウェアリセットではイヤホンに保存されている設定は初期化されません。

1 L／R（左／右）両方のイヤホンの操作ボタンを押しながら充電ケースに置きます。

» ハードウェアリセットが完了します。

ソフトウェアリセット

ソフトウェアリセットではイヤホンに保存されている設定が初期化されます。ソフトウェアリセット後、再度初期設定を行ってください。

1 L／R（左／右）両方のイヤホンを充電ケース（電池残量がある状態）に取り付けたあとイヤホンのインジケーターが点灯後に、両方のイヤホンの操作ボタンを長押し（約10秒）します。

2 両方のイヤホンのインジケーターが白色点滅し始めたら、指を離してイヤホンを充電ケースから取り出します。

» ソフトウェアリセットが完了します。

3 Bluetooth端末側から本製品の登録を削除し、再度ペアリングを行います。

- 手順通りにできなかった場合は、もう一度最初から同じ操作を行ってください。

故障かな？と思ったら

イヤホンについて

? 電源が入らない

- 本製品を充電してください。
- ハードウェアリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

? ペアリングができない

- 当社ホームページで、Bluetooth対応携帯電話の適合機種をご確認ください。
- Bluetooth端末の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。
- 本製品とBluetooth端末の距離を1m以内に近づけてください。
- Bluetooth端末のプロファイルを設定してください。設定方法は、Bluetooth端末の取扱説明書をお読みください。
- Bluetooth端末の本製品とのペアリング情報を削除してから、再度本製品とペアリングしてください。
- 充電ケースにイヤホンを取り付けてから、再度取り出して操作を行ってください。
- 前回接続していた別のBluetooth端末と接続していないかをご確認ください。その場合は、前回接続していたBluetooth 端末を操作して接続を解除してから今回接続したいBluetooth 端末側で本製品を選択して接続してください。前回接続していたBluetooth 端末と接続が解除できない場合は、強制ペアリングモードを行ってください。詳しくは「本製品の接続がうまくいかない場合（強制ペアリングモード）」(p.64)をご確認ください。
- すべての対処法をお試しいただいてもペアリングが解除できない、接続できない場合など、本製品の動作がおかしい場合はリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

? 雑音が多くて聴きたい音が聴こえない（ヒアリングアシスト機能）

- 当社専用アプリの「Connect」を使って外部取り込み音の調整を行ってください。
- 聴力フィッティングを行ってください。
- シーン編集から使用するシーンを選択して「環境ノイズ」「明瞭度」のレベルを大きくする、またはイコライザーの中低域の音量を下げたり、高域の音量を下げることで雑音が抑えられることがあります。

? 自分の声が反響して聴こえてしまう（ヒアリングアシスト機能）

- 当社専用アプリの「Connect」を使って音の調整を行ってください。
- 聴力フィッティングを行ってください。
- シーン編集から使用するシーンを選択して「自分の声の抑制」のレベルを大きくする、またはイコライザーの中低域（250Hzと500Hz）の音量を下げることで自分の声の反響が抑制されることがあります。

? 音が聴こえない／音が小さい（ヒアリングアシスト機能）

- イヤホンの電源が入っているかご確認ください。
- 左側のイヤホンにあるボタンを1回押すと音量が上がります。音が聴こえるまで音量の調整を行ってください。
- イヤホン・イヤピースが汚れている場合は、お手入れを行ってください。

? 音が出ない／音が小さい（音楽再生時）

- イヤホンの電源が入っているかご確認ください。
- 音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth端末が、A2DP（またはオーディオ接続）で接続されているかをご確認ください。
- 本製品とBluetooth端末のペアリングを解除したあとに再度ペアリングしてください。
- 本製品とBluetooth端末の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。
- Bluetooth端末の音声出力先を本製品に切り替えてください。

? 片方のイヤホンからしか音が聴こえない

- 電池が切れていないかをご確認ください。
- 充電ケースにイヤホンを取り付けてから、再度取り出して操作を行ってください。
- すべての対処法をお試しいただいてもペアリングが解除できない、接続できない場合など、本製品の動作がおかしい場合はリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

? 音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる

- 音量を小さくしてください。
- 本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。
- 本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。
- Bluetooth端末のイコライザー設定をオフにしてください。
- 本製品とBluetooth端末の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。詳しくは「Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために」(p.9)をご確認ください。

ノイズキャンセリング機能を使用しているときにノイズが出る

- ノイズキャンセリング機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。これはノイズキャンセリング機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出ることがあります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- ノイズキャンセリング効果を最大限に発揮するために、付属のイヤピースから左右それぞれ周囲の音が最も聴こえなくなる遮音性の高いイヤピースを選択し、しっかりと装着してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車で本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。

相手の声が聴こえない／相手の声が小さい（通話時）

- イヤホンの電源が入っているかご確認ください。
- 音量を大きくしてください。
- 本製品とBluetooth端末が、HFP（または通話接続）で接続されているか確認してください。
- 本製品とBluetooth端末のペアリングを解除したあとに再度ペアリングしてください。
- Bluetooth端末の音声出力先を本製品に切り替えてください。

充電ケースの充電ができない

- 付属の充電用USBケーブルを確実に接続して充電してください。
- 充電ケースやイヤホンが熱を持っている可能性があります。温度が充分に下がったことを確認してから、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電をし直してください。

イヤホンの充電ができない

- 本製品が充電ケースに正しく取り付けられているかをご確認ください。
- 充電ケースを充電してください。
- 乾いた布で充電端子の汚れを拭いてください。
- 充電ケースやイヤホンが熱を持っている可能性があります。温度が充分に下がったことを確認してから、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電をし直してください。
- ハードウェアリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

充電ケースのインジケーターが４つ同時に点滅をしている

- 充電ケースやイヤホンが熱を持っている可能性があります。温度が充分に下がったことを確認してから、直射日光を避け、風通しの良い場所（10～35℃）で充電をし直してください。

- Bluetooth端末の操作に関しては、機器により操作が異なるため、お持ちのBluetooth端末の取扱説明書をお読みください。

当社専用アプリ「Connect」について

Connectアプリと接続を開始できない

- 充電ケースにイヤホンを取り付けてから、再度取り出して操作を行ってください。
- Bluetooth端末を再起動してから、再度Connectアプリを開いてください。
- 本製品がアプリを使用したいBluetooth端末と接続されていることを確認してください。
- 本製品のペアリング情報を削除し、再度ペアリングしてください。
- iOS14以降のBluetooth設定画面で本製品の名前を変更している場合は、変更前の名前に戻してから再度アプリを開いてください。

Connectアプリと接続しようとすると「接続に失敗しました」と表示される

- 充電ケースにイヤホンを取り付けてから、再度取り出して操作を行ってください。
- アプリを再起動してから、再度接続を行ってください。
- Bluetooth端末のBluetooth設定で本製品のペアリング情報を削除し、再度アプリと接続を行ってください。
- 繰り返し表示される場合は本製品をリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

ファームウェアアップデートに失敗する

- アプリを再起動し、再度ファームウェアアップデートを実行してください。
- 繰り返し表示される場合は本製品をリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

ファームウェアアップデート後に本製品が正常に動作しない

- 本製品をリセットしてください。詳しくは「本製品の動作がおかしい場合」(p.64)をご確認ください。

置き忘れアラート機能を有効にすると、Bluetooth端末と本製品が離れていないのに頻繁に通知される

- アプリの置き忘れアラート画面にて、検出の感度調整を行うことで改善する場合があります。

- お使いのBluetooth端末によってはアプリがBluetoothの電波強度を正常に取得できず、本機能が使用できない場合があります。

置き忘れアラート機能を有効にしても、Bluetooth端末と本製品が離れたときに通知されない

- 本機能による通知を受け取るためには、アプリを起動し本製品と接続している必要があります。
- アプリの通知を許可していない場合は、許可してください。
- アプリの置き忘れアラート画面にて、検出の感度調整を行うことで改善する場合があります。
- お使いのBluetooth端末によってはアプリがBluetoothの電波強度を正常に取得できず、本機能が使用できない場合があります。

「製品を探す」機能を有効にしても、本製品接続・切断時の位置情報が記録されない

- 本機能で位置情報を記録するためには、アプリを起動し本製品と接続している必要があります。
- Bluetooth端末の位置情報（GPS）機能を無効している場合は、有効にしてください。
- iOSで位置情報の利用を「常に」許可していない場合、画面を消しているときや他のアプリを表示しているときは位置情報が取得できません。
- GPS信号を受信できない屋内環境や、Wi-Fiやモバイルネットワークに接続していない場合など、接続・切断時の環境によっては位置情報の取得に失敗する場合があります。

テクニカルデータ

イヤホン部

型式	ダイナミック型
ドライバー	φ10mm
感度	104dB/mW
再生周波数帯域	20～20,000Hz
インピーダンス	31Ω

マイクロホン部

型式	MEMS型
指向性	全指向性
感度	-38dB（1V/Pa、at 1kHz）
周波数帯域	20～10,000Hz

通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.5.3準拠
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）
変調方式	GFSK、Pi/4DQPSK、8DPSK
スペクトラム拡散方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP、HFP
対応コーデック	AAC、SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域	20～20,000Hz

その他

電源	イヤホン：DC3.85V リチウムイオン電池（内蔵式） 充電ケース：DC3.85V リチウムイオン電池（内蔵式）
充電時間	約1.6時間
使用可能時間	最大約10時間[1]（イヤホン） 最大約40時間[1]（充電ケース併用時）
質量	イヤホン：約5.7g（L側）、約5.7g（R側）／充電ケース：約42.8g
防水・防じん仕様	IP55[2]
使用温度範囲	5℃～40℃
付属品	充電用USBケーブル（50cm、USB Type-A／USB Type-C）、イヤピース（XS、S、M、L）、イヤピース ロング（XS、S、M、L）
交換品（別売）	イヤピース（ER-TW1 XS、S、M、L） イヤピース ロング（ER-TW33 XS、S、M、L）

[1] 使用条件により異なります。

[2] イヤホン本体のみ。

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

商標について

- **Bluetooth**®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社オーディオテクニカは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Android は Google LLC の商標です。
- iPhoneは、Apple Inc.の商標です。商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用しています。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica-mimio.com

Audio-Technica Corporation
2-46-1 Nishi-naruse, Machida, Tokyo 194-8666, Japan
www.audio-technica.com
©2026 Audio-Technica Corporation
Global Support Contact: www.at-globalsupport.com
138901320-01-02
ver.1 2025.08.01
ver.2 2026.02.15